



子供たちに人気だった、石炭の灰を使ったフライアッシュペイント



夜の街「国際」の昔懐かしい写真展



さわやかスポーツマン、隆行さん

**会**場マップを配りながら案内していたのは、大館展開催の手伝いをするサポートスタッフ西山隆行さん(清水南町)。出身はお隣の岩手県。市内の会社に勤務していて、休みの土、日だけ手伝っているそうだ。大館に来て3年目ですが、住みやすく良い街ですよ。岩手でも、こういうイベントはあまり見たことがないし、これを機会に盛り上がってくれればいいですね。隆行さんは、大学まで野球チームに所属していましたが、最近は体が動かなくなってためですね。まだ若いじゃない! ちなみに彼女は? 「大館に良い人がいれば…」とただいま募集中だそうです。とてもさわやかな印象の隆行さん、すてきな彼女が見つかりますように。

# あってグッド

歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

市民の皆さんが  
たくさん登場

これまでの  
登場者数 552人

81,995人  
(H20.9.1現在)

「あってグッド」は、歩いて行くの方言「あってえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせ、もじったものです。

## 募集

ご町内でのイベントをお知らせください。取材に伺います。広報広聴係 ☎43-7025

**声** を掛けると察し良く、もしかしてあってグット? いつも見てますよ」と言ってくれた佐藤健さん(清水南町)とゆかりさん、悠梧くん親子。小学校の先生で野球部を担当しているという健さん。久々に休みが取れたのでブラッと来てみたそう。市内でイベントをやっていると、時間が開いたときにちよこつと来れるしね」とゆかりさん。石炭の灰を使ってお母さんの顔を書いた悠梧くん。どう、うまく書けた? 「おもしろかった。けど、うん、顔がだんだん変になっちゃって...」。大丈夫、実際のお母さんはとってもステキだよ

**独** 創性に富んだ作品が並ぶ会場では、訪れた方々がそれぞれ力と地域の協力で、閉じたシャッターを開けたゼロダテ大館展。みんなで力を合わせるって、とっても大事なコトなんですね。では、次回もあってグット!



左から健さん、悠梧くん、ゆかりさん